



町田市議会議員

～ 町田市政に新風を！ ～

渡辺げんたろう

昭和48年 町田市玉川学園生まれ 玉川学園在住
玉川中央幼稚園／町田市立第五小／町田市立南大谷中／都立町田高校／
日本大学法学部法律学科卒／新光証券(現みずほ証券)勤務／保険代理店勤務
平成22年町田市議会初当選 平成26年 2期目当選
消防団第一分団第五部部长／エイサー町田琉二代目会長／消防少年団副団長／神輿会「幸神睦」会員

党利、党略、政局よりも 町田が良くなることを 第一義に！

活動の詳細は → フェイスブック (渡辺徹太郎)・ホームページ (渡辺げんたろう) で検索

1 期目 (2010年～2013年) の主な実績報告

- ◎ アメリカ海軍厚木基地・横浜市との**災害時応援協定締結を実現**
- ◎ 公共施設が使用する**電気料金の大幅削減を実現**
- ◎ **ガン放射線治療(先進医療)の導入**にむけて市政を前進
- ◎ 副作用が多いHPV (子宮頸がん) ワクチンの**接種勧奨中止をいち早く提言・実現**

2014年6月議会の活動報告

- ◎ 中心市街地の**長崎屋跡地**について、街づくり予算を確保
- ◎ 商店街や町内会の自主的な**治安事業**に対し、**行政が協力する体制を確保**
- ◎ **市民病院の将来** (ガン放射線治療や救急救命の必要性) について、検討委員会を設置
 - 市民病院に放射線治療を導入すること
 - 都県境・医療圏を超えて重粒子線治療施設と連携することを求めます。
- 死亡原因の第1位であるガンの治療には、外科的手術、科学療法 (抗がん剤)、放射線治療の3つが基本となりますが、町田市民病院には放射線治療施設がありません。市民がより良い医療を求めることは当たり前ですし、大きすぎる財政支出を望まない事も当然です。
- 私は、建設費に数百億円かかる先進医療の重粒子線治療施設ではなく、通常の放射線治療施設であるリニアックを市民病院へ導入するよう強く求めています。
- さらに、重粒子線治療が必要な患者さんのため、「神奈川県立がんセンター」との医療圏を超えた連携を、早期に実現させるよう求めます。

2014年9月議会の活動報告

- ◎ **埋蔵文化財（土器）の価値ある活用方法**と保管費用の軽減について提言
 - ◎ **道徳教育の重要性**と副読本の活用を提言
 - ◎ 子育てにおける家庭の重要性と**在宅子育ての支援策**を提言
- ・待機児童0を目指して開始された「子ども子育て新支援制度」ですが、保育園には0歳児一人当たり年間270万円の税金が投入されていることをご存じですか？
 - ・一方で、自宅で子育てをする方への支援はいかがでしょうか？
 - ・「子育ては本来、親の仕事であり、楽しみである」
「今こそ、子育てを親から取り上げるのではなく、親の手に返す政策を！」
70年間、子育てに従事されてきた玉川中央幼稚園の林 前理事長のお言葉が胸に刺さります。
 - ・自宅で子育てをする方には、多世代近居をされる傾向があります。お爺さんお婆さんと近居し、世代を超えた子育てによって心豊かな子供を育成できる社会の創生に、尽力したいと思います。

消防署の跡地について

- ・2017年度、町田消防署は旧緑が丘小学校（本町田）に移転します。
- ・現在の消防署は、築50年を過ぎて老朽化が進行し、耐震の脆弱性から課題があります。消防署は地域防災の最重要拠点ですので、消防署の建替え検討について邁進してきたところ、広大な敷地を利用した総合防災拠点として、緑が丘小学校跡地への移転が決まりました。
- ・では、現在の町田消防署の跡地はどうするのでしょうか？
- ・高層ビルが密集する中心市街地では、はしご車の必要性が高く、また、救急車は人口密度に応じて出動回数が増加します。
- ・私は、現在の消防署跡地または近辺に、「はしご車と救急車の部隊を擁する出張所」を新設することが、地域の消防力の更なる向上につながるものだと考えます。

これ以外にも、多方面にわたり、全力で邁進しています。



写真左：渡辺厳太郎

右：石坂丈一市長

今後の進捗に注目して下さい！

町田市議会議員

渡辺げんたろう

ホームページ
を検索！

討議資料